



平成26年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月3日

上場会社名 シミックホールディングス株式会社

上場取引所 東

コード番号 2309 URL <http://www.cmhc-holdings.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 中村 和男

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員CFO (氏名) 望月 渉 TEL 03-5745-7070

四半期報告書提出予定日 平成26年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年9月期第1四半期の連結業績(平成25年10月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年9月期第1四半期	13,098	1.9	1,064	△23.5	1,117	△22.1	371	△45.0
25年9月期第1四半期	12,856	7.1	1,392	20.5	1,433	25.4	674	43.2

(注) 包括利益 26年9月期第1四半期 509百万円 (△31.1%) 25年9月期第1四半期 740百万円 (34.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年9月期第1四半期	20.62	—
25年9月期第1四半期	37.37	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年9月期第1四半期	42,919	19,793	46.0
25年9月期	42,855	19,601	45.6

(参考) 自己資本 26年9月期第1四半期 19,734百万円 25年9月期 19,550百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年9月期	—	17.50	—	17.50	35.00
26年9月期	—	—	—	—	—
26年9月期(予想)	—	17.50	—	17.50	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年9月期の連結業績予想(平成25年10月1日～平成26年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	25,250	0.2	1,150	△55.9	1,050	△59.0	300	△77.5	16.67
通期	51,500	1.1	2,500	△39.8	2,300	△41.6	800	△54.4	44.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ー社 (社名) 、 除外 ー社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の3に該当するものであります。詳細は、四半期決算短信 添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年9月期1Q	18,221,860 株	25年9月期	18,221,860 株
② 期末自己株式数	26年9月期1Q	223,920 株	25年9月期	223,860 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年9月期1Q	17,997,993 株	25年9月期1Q	18,062,373 株

(注) 自己株式数については、株式給付信託(J-ESOP)が所有する当社株式(190,000株)を含めております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。
業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信 添付資料4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
4. 補足情報	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、製薬企業の付加価値向上に貢献する当社独自の事業モデルであるPVC (Pharmaceutical Value Creator) を展開し、CRO (医薬品開発支援) 事業、CMO (医薬品製造支援) 事業、CSO (医薬品営業支援) 事業、ヘルスケア事業、IPD (知的財産開発) 事業において、製薬企業の開発、製造、営業・マーケティングのバリューチェーンを広範に支援しております。

医薬品業界におきましては、政府の成長戦略において医療関連産業活性化の方針が示され、産官学連携を通じた迅速な新薬創出を促進するとともに、後発医薬品の普及や長期収載品の価格体系の検証を通じて社会保障費を抑制するための取り組みが打ち出されています。製薬企業は、研究開発費の増大や主力製品の特許切れ、個別医療の高まり等の事業環境の下、組織体制の最適化を図り、医薬品開発の迅速化と効率化を目指して、アウトソーシングを加速する傾向にあります。

当社グループが属する業界におきましては、これらのアウトソーシングニーズの高まりを受け、支援業務の多様化や顧客との連携強化を図っています。また、企業合併や異業種からの新規参入等の業界再編も進む中、市場規模は拡大傾向にあります。

[売上高及び営業利益]

当第1四半期連結累計期間においては、各事業領域の基盤を強化するとともに、個々のサービスの一層の充実を図ることにより、事業の収益性と生産性の向上及び事業間シナジーの追求に取り組みました。当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は13,098百万円（前年同期比1.9%増）、営業利益は1,064百万円（同23.5%減）、経常利益1,117百万円（同22.1%減）、四半期純利益371百万円（同45.0%減）となりました。

セグメント別概況は次のとおりです。なお、平成25年4月の組織変更に伴い、医療、製薬業界向けBPO (Business Process Outsourcing) ・人材サービス等を行う株式会社シミックBSは、その所属する報告セグメントをヘルスケア事業からCSO事業に変更しております。セグメント別の業績の前年同期比増減額及び率につきましては、当該変更後の区分に基づいて比較しております。

<CRO事業>

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額 (増減率%)
売上高	4,922	5,639	+716 (+14.6%)
営業利益	918	1,036	+117 (+12.8%)

当事業においては、主に製薬企業の医薬品開発支援に係る業務を行っております。

当第1四半期連結累計期間においては、市場拡大が見込まれる医療機器分野の開発支援体制を整備し、医療機器支援業務の強化を図っております。

モニタリング業務において新規受注及び既存案件が順調に進捗したこと、データマネジメント業務においてシミックPMS株式会社の売上が加わったこと等により、売上高及び営業利益が前年同期を上回りました。

<CMO事業>

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額 (増減率%)
売上高	4,334	3,703	△631 (△14.6%)
営業利益	700	345	△354 (△50.7%)

当事業においては、主に製薬企業の医薬品製造支援に係る業務を行っております。

当第1四半期連結累計期間においては、新規受託獲得のための営業体制及び製剤開発力の強化を図っております。平成25年10月に、CMO事業を行う連結子会社2社（シミックCMO株式会社・シミックCMO富山株式会社）を合併し、新たなシミックCMO株式会社としてCMO事業の機能強化および効率化に向けた施策を展開してまいります。同社には、「製剤開発センター」を新設し、グループCMO各社の製剤設計技術及び製造技術を結集することで、製剤開発分野へのサービス強化を促進しております。また、同月には、日本・欧州・米国における事業拡大に向けて、英国の医薬品開発製造受託機関であるAesica Pharmaceuticals Limitedと協業覚書を締結しました。平成25年11月には、固形剤の受託生産力の向上及び注射剤の受注強化を図るため、田辺三菱製薬工場株式会社の足利工場の譲受け及び受託生産に関し、株式譲渡契約書を締結いたしました。

売上高及び営業利益につきましては、シミックCMO株式会社において既存案件の製品の受託生産量が減少したこと等により、前年同期を下回りました。

<CSO事業>

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額 (増減率%)
売上高	1,369	1,425	+56 (+4.2%)
営業利益	136	87	△48 (△35.9%)

当事業においては、主に製薬企業の営業・マーケティング支援及び医療、製薬業界向けBPO・人材サービスに係る業務を行っております。

当第1四半期連結累計期間においては、MR（医薬情報担当者）派遣業務における大型の新規案件に伴う採用活動の強化を図りました。

株式会社シミックエムピーエスエスのMR派遣業務及び株式会社シミックBSのBPOサービス業務の好調な受注を背景に、売上高は前年同期を上回りました。営業利益につきましては、MR派遣業務の大型新規案件のための採用コストが先行して発生したこと等により、前年同期を下回りました。

<ヘルスケア事業>

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額 (増減率%)
売上高	2,353	2,412	+58 (+2.5%)
営業利益	282	169	△112 (△39.9%)

当事業においては、SMO（治験施設支援）業務、ヘルスケア情報サービスなど、主に医療機関や患者、一般消費者の医療や健康維持・増進のための支援業務を行っております。

当第1四半期連結累計期間においては、平成25年12月に、SMO業務を行うサイトサポート・インスティテュート株式会社（以下、SSI）が平成22年に行った一般用医薬品の治験支援業務において身長データの不正記載があったことが、SSIが設置した専門家調査委員会による調査により判明しました。これに対し、SSIを含めグループ全体で品質管理体制及びコンプライアンス体制の強化に真摯に取り組み、ステークホルダーの皆様からの信頼回復に努めております。本件の影響により、SSIの新規受注が低迷しており、早期の受注回復に向けて注力しております。

売上高は、SMO業務を行うSSIにおける既存案件の順調な進捗により前年同期並みとなりました。営業利益につきましては、SMO業務において難易度の高い試験の増加等に伴いプロジェクトの原価率が上昇したこと等により、前年同期を下回りました。

<IPD事業>

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額 (増減率%)
売上高	77	100	+22 (+28.3%)
営業利益	△222	△142	+80 (－)

当事業においては、診断薬や希少疾病用医薬品（オーファンドラッグ）等の開発及び販売に係る業務を行っております。

診断薬事業については、当社が腎疾患の診断を目的として開発した体外診断用医薬品「ヒトL型脂肪酸結合蛋白キット（販売名：レナプロ®L-FABPテスト）」の販路拡大と学術及びプロモーションの強化に努めるとともに、高感度測定が可能な改良型の開発を行っております。

希少疾病用医薬品については、販売している尿素サイクル異常症用治療薬「プフェニール®（一般名：フェニル酪酸ナトリウム）」及び急性ポルフィリン症治療薬「ノーモサング®（一般名：ヘミン）」について、疾病認知度の向上を図るとともに、販売経費の節減に取り組んでおります。

当事業は診断薬等にかかる研究開発費の計上及び株式会社オーファンパシフィックにおける販売にかかる費用等の計上により、営業損失が発生しております。

[経常利益]

当第1四半期連結累計期間の経常利益は前年同期比316百万円減(22.1%減)の1,117百万円となりました。

主な減少要因は、前述の通り営業利益が減少したことによるものでありますが、営業外収益として持分法による投資利益34百万円や為替差益31百万円等、営業外費用として支払利息30百万円等を計上しております。

[四半期純利益]

当第1四半期連結累計期間の四半期純利益は前年同期比303百万円減(45.0%減)の371百万円となりました。

これは、主に特別損失として投資有価証券評価損129百万円、法人税等合計として前年同期比207百万円減の574百万円、少数株主利益として前年同期比31百万円増の3百万円を計上したことによるものであります。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末比で63百万円増加し、42,919百万円となりました。これは、主に受取手形及び売掛金の増加と仕掛品の減少によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末比で127百万円減少し、23,125百万円となりました。これは、主に賞与引当金及び未払法人税等の減少と、コマーシャルペーパーの増加によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末比で191百万円増加し、19,793百万円となりました。これは、主に当四半期会計期間における利益の増加と配当金の支払によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年11月6日に平成25年9月期決算短信にて公表いたしました業績予想から変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

従来、当社及び国内連結子会社は、有形固定資産の減価償却方法について、主として定率法を採用しておりましたが、当第1四半期連結会計期間より定額法に変更しております。

この変更は、中期計画に基づく大型製造設備の稼働や新規受託先の拡大施策の実行等により、CMO(医薬品製造支援)事業を中心として長期安定的な操業を可能とする製造受託体制が整備されることを契機として、減価償却方法の見直しを行った結果、投資の効果は安定的に発現すると認められることから、より合理的な費用配分を行うことを目的とするものです。

この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益がそれぞれ87百万円増加しております。

なお、セグメント情報に与える影響については、

「(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項 セグメント情報等」に記載しています。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,962	6,565
受取手形及び売掛金	7,695	8,204
商品及び製品	175	93
仕掛品	3,954	3,460
原材料及び貯蔵品	1,017	950
その他	3,093	3,200
貸倒引当金	△8	△10
流動資産合計	22,891	22,463
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,319	5,263
土地	4,674	4,693
その他(純額)	4,472	4,997
有形固定資産合計	14,466	14,955
無形固定資産		
のれん	1,268	1,150
その他	859	845
無形固定資産合計	2,128	1,996
投資その他の資産		
投資有価証券	493	489
敷金及び保証金	1,304	1,307
その他	1,597	1,736
貸倒引当金	△26	△29
投資その他の資産合計	3,369	3,504
固定資産合計	19,963	20,455
資産合計	42,855	42,919

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,215	1,342
短期借入金	3,965	4,065
コマーシャル・ペーパー	—	2,000
未払法人税等	1,404	172
賞与引当金	1,971	476
役員賞与引当金	23	—
受注損失引当金	287	327
その他	4,809	5,485
流動負債合計	13,677	13,870
固定負債		
長期借入金	5,459	4,925
退職給付引当金	3,412	3,575
その他	703	754
固定負債合計	9,576	9,255
負債合計	23,253	23,125
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,087	3,087
資本剰余金	6,292	6,292
利益剰余金	10,560	10,613
自己株式	△257	△257
株主資本合計	19,682	19,735
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△58	0
為替換算調整勘定	△73	△1
その他の包括利益累計額合計	△131	△1
少数株主持分	51	59
純資産合計	19,601	19,793
負債純資産合計	42,855	42,919

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成24年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成25年12月31日)
売上高	12,856	13,098
売上原価	9,532	10,080
売上総利益	3,324	3,018
販売費及び一般管理費	1,932	1,954
営業利益	1,392	1,064
営業外収益		
受取利息	1	0
受取賃貸料	3	3
為替差益	51	31
持分法による投資利益	20	34
その他	21	30
営業外収益合計	99	100
営業外費用		
支払利息	35	30
その他	22	17
営業外費用合計	57	47
経常利益	1,433	1,117
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産除却損	6	38
投資有価証券評価損	—	129
特別損失合計	6	168
税金等調整前四半期純利益	1,427	948
法人税、住民税及び事業税	310	183
法人税等調整額	470	390
法人税等合計	781	574
少数株主損益調整前四半期純利益	646	374
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△28	3
四半期純利益	674	371

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成24年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	646	374
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△42	58
為替換算調整勘定	133	75
持分法適用会社に対する持分相当額	2	—
その他の包括利益合計	93	134
四半期包括利益	740	509
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	761	501
少数株主に係る四半期包括利益	△21	7

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年10月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	CRO事業	CMO事業	CSO事業	ヘルスケア 事業	IPD事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	4,870	4,325	1,234	2,348	77	12,856	—	12,856
セグメント間の内部 売上高又は振替高	52	8	134	5	—	201	△201	—
計	4,922	4,334	1,369	2,353	77	13,058	△201	12,856
セグメント利益又は セグメント損失(△)	918	700	136	282	△222	1,814	△422	1,392

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△422百万円には、セグメント間取引消去等△0百万円、各報告セグメントへ配分していない全社費用△421百万円が含まれております。全社費用の主なものは、当社(持株会社)に係る費用であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 平成25年4月の組織変更に伴い、株式会社シミックBSは、その所属する報告セグメントをヘルスケア事業からCSO事業に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、当該変更後の区分方法により作成してあります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成25年10月1日至平成25年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	CRO事業	CMO事業	CSO事業	ヘルスケア 事業	IPD事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	5,626	3,700	1,277	2,400	93	13,098	—	13,098
セグメント間の内部 売上高又は振替高	12	3	148	11	6	182	△182	—
計	5,639	3,703	1,425	2,412	100	13,280	△182	13,098
セグメント利益又は セグメント損失(△)	1,036	345	87	169	△142	1,495	△431	1,064

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△431百万円には、セグメント間取引消去等△0百万円、各報告セグメントへ配分していない全社費用△431百万円が含まれております。全社費用の主なものは、当社（持株会社）に係る費用であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 「サマリー情報（注記事項）に関する事項」の「(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更」に記載の通り、当社及び国内連結子会社は、有形固定資産の減価償却方法について、主として定率法を採用していましたが、当第1四半期連結会計期間より定額法に変更しております。これに伴い、従来の方法によった場合に比べて、当第1四半期連結累計期間のセグメント利益がCRO事業で2百万円、CMO事業で73百万円、CSO事業で0百万円、ヘルスケア事業で2百万円、IPD事業で0百万円それぞれ増加しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 補足情報

受注の状況

受注実績

(単位：百万円)

報告セグメントの名称	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成24年12月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成25年12月31日)		前連結会計年度 (自平成24年10月1日 至平成25年9月30日)	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高
CRO事業	6,563	30,648	6,231	34,849	26,588	34,244
CMO事業	4,995	3,849	3,555	2,689	15,534	2,833
CSO事業	311	3,079	2,265	4,423	4,105	3,435
ヘルスケア事業	2,552	13,238	497	10,155	7,845	12,058
IPD事業	77	—	94	1	260	—
合計	14,500	50,815	12,645	52,118	54,334	52,572

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 金額は販売価格によっており、セグメント間の取引については相殺消去しております。

3. CMO事業の受注残高は確定注文を受けているもののみ計上しております。顧客からは、年間ベースの発注計画等の提示を受けていますが、確定注文とは異なりますので受注残高には含めておりません。

4. 平成25年4月の組織変更に伴い、株式会社シミックBSは、その所属する報告セグメントをヘルスケア事業からCSO事業に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度の受注高並びに受注残高は、当該変更後の区分方法により作成しております。